

# 議会だより

第166号

平成30年  
11月発行

おおしろ ほのか  
題字: 大城 穂乃香  
嘉手納中学校3年



平成30年9月定例会 ~主な内容~

平成29年度一般会計決算 ..... P2

台風24号被害への実態調査と早期復旧を要請 .. P5

「各種団体と議会との懇談会」を開催 .. P6

町政を問う! 14名の議員が一般質問 .. P9

題字紹介・サークル紹介 ..... P24

ダンスで防災をピーアール! ~泡盛祭りにて~

[嘉手納町議会ホームページ](#) [嘉手納町議会](#) [検索](#)

町議会を傍聴しましょう! 定例会は3・6・9・12月に開かれます。

# われた? 議会でチェック!



## 9月定例会

平成30年第19回(9月)定例会を9月4日から21日までの会期で開いた。本定例会では、平成29年度決算認定(一般会計、水道事業会計、3特別会計)及び、平成30年度補正予算1件を含む議案10件、報告2件、意見書2件、決議2件、諮問1件を可決した。

## 町民1人あたり年間70万7,652円使われました

※左記以外にも使われた費用があるため、一人あたりに使われた額と、目的別使用額の総計とは異なります。

## 平成29年度 岁入歳出決算(1万円未満切り捨て)

会計名		歳入	歳出
一般会計		99億 852万円	96億6,937万円
特別会計	国民健康保険	26億1,200万円	24億2,067万円
	後期高齢者医療	2億4,701万円	2億4,550万円
	下水道事業	3億4,102万円	2億8,313万円
	水道事業会計	3億4,118万円	3億2,519万円

◆主な議案などに対する議員の賛否

件名	議決月日	出席者数	議決者数	賛成者数	反対者数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
						仲村一	志賀孝也	花城勝男	宍原京一	古謝友義	安森盛雄	奥間政秀	新垣貴人	豊田唯和男	仲村渠兼栄	石嶺邦雄	當山均	田崎博美	田仲康榮	知念隆	徳里直樹
平成29年度嘉手納町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	9/21	16	15	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

「○」:賛成 「×」:反対 「欠」:欠席 「退」:退席

議長は賛否同数以外は採決に加わらないので「-」で表示。



# 3常任委員会でこんな質疑がありました!

## 総務財政委員会



問 軽自動車税の収入済額452万7千円のコンビニ納付状況と未済額の件数は。

答 3189件、2264万円。未済額は215件。

問 墓斎場使用料151万円の内訳は。

答 町内76件、82万4千円。町外68万6千円。

問 沖縄安全対策事業補助金事業の内容は。

答 防犯カメラを国の補助100%補助事業。新町通り／みなと通り8台、ロータリー／広場3台、ちびっ子広場1台、水釜街区公園2台、嘉手納児童公園1台。

問 軽自動車税の収入済額452万7千円のコンビニ納付状況と未済額の件数は。

答 3189件、2264万円。未済額は215件。

問 墓斎場使用料151万円の内訳は。

答 町内76件、82万4千円。未済額は215件。

るさと納税の状況は。  
問 100人。寄付額が762万1000円。

問 町民農園の利用状況は。

答 78区画中77区画が利用されて

いる。

ンケート調査の内容は。  
問 屋間の来場者が少ない。380名から調査を実施。今後は時

間帯を考慮する。

問 うたの日コンサートの経済効

果は。

問 テナントや弁当売り上げは把

握しているが、大規模な調査は

実施していない。

問 防犯灯・街路灯のLED化に

よる効果は。

独居世帯160件、夫婦世帯137件、高齢者のみ28件。  
問 臨時福祉給付金は。

答 非課税世帯に3374名へ1万5000円の支給。

問 母子及び父子家庭等医療費助成金の人数内訳は。

答 母子204人、父子21人。

問 認可保育所待機児童数は。

答 平成30年4月1日現在で47名。

問 よみたん斎苑の町民の利用状況は。

答 母子204人、父子21人。

問 認可保育所待機児童数は。

答 平成30年4月1日現在で47名。

問 よみたん斎苑の町民の利用状況は。

答 母子204人、父子21人。

## 文教厚生委員会



問 商業施設影響度調査委託料の内容は。

答 バイパス開通後の影響度調査を実施。

問 地域活性化イベント補助金の内容は。

答 44件へ補助。過去の実績は315件。

問 地域福祉交通アンケート調査業務委託料の内容は。

答 613件中315件回収し、3月までに方針を決定する。

問 高齢者実態把握等業務実績は。

答 501件配布し325件の回収で回収率は65%。内訳として

野國總管まつりの課題及びア

一般寄付金増の要因は。

答 9617万9000円(82279件)がふるさと納税によるもの。県外8181件、県内91件。

問 町内在住者が他市町村へのふ

問 給食配達業務委託料増の理由は。

答 3名の職員増員により8000万円近くの増。



11月9日 富川沖縄県副知事へ要請



11月9日 新里沖縄県議会議長へ要請



11月1日 被災現場にて役場担当職員より説明を受ける



台風24号襲来直後の被災地の様子 左：水釜護岸 右：兼久海浜公園

9月29日に襲来した台風24号は本町の護岸損壊や住宅地域の浸水など、大きな被害をもたらした。

嘉手納町議会も、全議員で被害を受けた護岸や建築物の調査を行い、11月8日に臨時議会を招集し、早急なる護岸の復旧工事と被害を受けた住民に対し、支援策が講じられるよう意見書と要請決議を可決した。

臨時議会翌日の11月9日に富川盛武副知事と面会。同日、新里米吉県議会議長を訪ね、それぞれ要請を行った。

## 台風24号による被害の 実態調査と早期復旧を要請！

# 談会を開催 ~20団体が参加~

平成30年10月24日から11月15日にかけ、補助団体等20団体と「各種団体と議会との懇談会」を開催しました。

今回の懇談会では、各種団体の皆様と所管委員と直接対話し、参加者の皆様から多様な意見をお聞きしました。

●**交通安全母の会**  
・各種団体の連携を図るため、交流会かボランティアの集いを行って欲しい。

●**更生保護女性会**  
・ボランティアの登録制

**総務財政常任委員会**

頂いたご意見・ご要望は、今後担当する委員会の審査や一般質問を通じて町の基本的な考え方を確認し、案件によりつては改善を求めていきます。



●**文教厚生常任委員会**

※取り急ぎ、各団体から出された主な意見・要望の概要を掲載しています。

●**民生委員児童委員協議会**

台風24号の被災者支援について、仕組みや災害復旧の状況が知りたい。住民へ情報提供を。

●**PTA連合会**

実を。

●**スポーツ少年団**

環境整備のハード（グラウンド等）、ソフト（人材等）面で支援を。

・人材育成事業の助成対象の拡充を。

●**PTA連合会**

・安全確保のため、通学路へ防犯カメラや外灯、グリーンベルトの増設を。

度と学校と地域をつなぐコードイネーターの強化に努めてもらいたい。

●**自治会長会**

現在各自治会にあるラオケ機器はサークルや老人会、忘新年会、その他イベントで頻繁に使用している。町の補助で誰でも簡単に楽しめるカラオケ機器の導入を。

用の免除と、土曜日預かり保育を。

・給食調理業務等、委託事業給与の昇給、賞与の支給を求める。

●**社会福祉協議会**

・今後も議会から福祉行政全般へさらなる協力を仰ぎたい。

●**遺族会**

・会員の高齢化と後継者不足が深刻である。行政主催による戦没者慰霊祭の継続を。

●**文化協会**

・資料書類の保管場所や文化センター中に紅型の設置と展示用パネルの増量を。

9月21日

E-3早期警戒管制機の駐機場移転等を要請

CV-22オスプレイが10月に横田基地へ配備された後に、嘉手納基地において訓練が予想される。住民からは、さらなる騒音激化や墜落等の重大事故の発生を懸念する声が高まっている。同基地では、外来機の暫定配備で騒音激化等による基地被害が増大している中、CV-22オスプレイの訓練が常態化すれば、基地被害が一層増大することは必至であり、訓練拠点につながりかねない。よって嘉手納町議会は、CV-22オスプレイの嘉手納基地での運用に断固反対することを関係機関に要請した。

9月21日

CV-22オスプレイの嘉手納基地での運用に断固反対する

嘉手納基地から航空機のエンジン調整に排出される排気ガスは、町民の日常生活に多大な影響を及し、「気分が悪い」「頭が痛い」「息苦しい」など体調不良を訴える声がある。平成29年度に本町が同基地由来の悪臭について調査した結果、悪臭の発生源がE-3早期警戒管制機の排気ガスである可能性が高いことがわかった。そこで、航空機排気ガス防止策として、駐機場を住民居住地域から移転させるなどを有効な対策を早急に講じるよう関係機関に要請した。

# 各種団体と議会との懇

- 精神療養者家族会**
  - ・会員の減少で役員の担い手が少ない。高齢化に伴い若い会員が少ない。
- 健康を守る会**
  - ・健診受診向上アピール
- 老人クラブ連合会**
  - ・高齢者の交通手段としてコミュニティーバスやタクシーチケット等で支援を。
- 障がい福祉協会**
  - ・団地等公共施設建設の際は、計画当初から当事者も参加させてほしい。
  - ・タクシーチケット等の交通手段に対する支援を。



- 食生活改善推進協議会**
  - ・食と健康、食と文化に対して理解を深め、嘉手納の食文化歴史である野國甘藷に愛着と敬意を。
- 農業団体連絡協議会**
  - ・芋洗い機等共同で利用できる設備の充実を。
- 漁業組合**
  - ・人手が必要な収穫時には、久得農園への立ち入りバス取得者以外も農園へ入れるようにして欲しい。



- 商工会**
  - ・嘉手納・読谷へのモノレール・鉄軌道延伸を国・県に要望して欲しい。
  - ・道の駅、比謝川、新町通りを連携させ、道の駅利用者を町内へ周遊させる仕組みづくりを。
- 基地対策協議会**
  - ・現在どの外来機が飛来しているか等、情報を毎月町の広報に掲載して欲しい。



## 米軍・沖縄防衛局等関係機関へ強く抗議要請！

臨時会  
11月8日

嘉手納基地内でのHH-60ヘリコプター事故に抗議

平成30年10月9日、嘉手納基地内において米海軍のHH-60ヘリコプター2機が滑走路を移動中に衝突事故を起こしていたことが新聞報道で分かった。沖縄防衛局から町への情報は10月11日、駐機中の1機に移動中の1機が接触したが、現在調査中であるとの報道のみである。米海軍は「公共の安全性や環境に影響を及ぼさない基地内で発生した事案に付けては、自治体への公式な通知は義務付けられていない」との認識で、事故発生から約1か月経過した現時点でも詳細が明らかにされない状況に対しても強い憤りを禁じ得ない。嘉手納町議会は、関係機関へ通報基準を見直し、迅速な情報提供を行うよう強く要求した。



9月21日 中嶋浩一郎沖縄防衛局長へ要請

## 全国町村議会広報研修会・先進地視察研修

（）誰のため、何のための議会広報か（）



10月9日 全国町村議会広報研修会



10月10日 千葉県袖ヶ浦市議会行政視察

平成30年10月9日、議会広報調査特別委員会は東京都永田町の砂防会館で開催された全国町村議会広報研修会へ参加した。第1部は朝日新聞校閲事業部長前田安正講師を迎えて「読み手に伝わる文章の書き方」をテーマに講演が行われた。

第2部はアートディレクター筒井美希講師を迎えて「デザインの力でもっと伝わる議会広報紙」をテーマでの講演。

第3部はグラフィックデザイナー長岡光弘講師を迎えて「最優秀賞及び優秀賞作に見る光彩を放つ編集力」をテーマの講

演であった。この3講演で学んだことを持ち帰り今後の広報づくりに活かしていくと思った。

### すぐれた議会だよりを研修

10月10日には千葉県袖ヶ浦市にて研修を行った。佐藤麗子広報委員長を中心になっていく中でQRコードを使った見える広報紙作りや広報委員の地域の方々への聞き取りの活動状況を学んできた。今後、嘉手納町でも町民目線でより見やすい紙面づくりに活かしていきたい。

## 中部町村議会議員 親善スポーツ大会



平成30年10月30日、北谷ボウルにて中部町村議会議員親善スポーツ交流会が開催された。6町村から51名が参加しボウリングをしてすがすがしい汗を流した。



平成30年11月8日議会広報研修がパシフィックホテル沖縄で開催された。「議員力アップにつながる作成ポイント」をテーマに、熊本大学客員教授の越地真一郎氏が講演を務めた。前半は、「タイトルメッシュ」「セージ」、「伝える」と「伝わる」、「見出しパワーワード」について指導を受け、後半は個別のクリニック研修で、3町村がクリーナークを受け、きめ細かに指摘を受けた。



嘉手納町議会からは花城勝男議員が5位という素晴らしい成績をおさめた。懇親会には60名が参加し情報交換を含めて「中部は一つ」を合言葉に交流を深めた。

# 町政を問う

題字：安森 盛雄 議員

**安森 盛雄 ..... P10**

補聴器補助と人工内耳補助を問う

**古謝 友義 ..... P11**

町の特産品に指定を

**宇榮原 京一 ..... P12**

町職員の健康管理は

**志喜屋 孝也 ..... P13**

道の駅かでなりニューアルを問う

**花城 勝男 ..... P14**

町財政及び財務報告書を問う

**田仲 康榮 ..... P15**

高卒まで医療費無料化を

**仲村渠 兼栄 ..... P16**

町社会福祉センター改修工事の実施を

**照屋 唯和男 ..... P17**

屋良東部地区地域振興施設機能拡充事業と観光振興基本計画を問う

**奥間 政秀 ..... P18**

ブロック塀の安全点検の状況と対策は

**知念 隆 ..... P19**

通学路の安全管理と対策を問う

**仲村 一 ..... P20**

役場前駐車場を問う

**田崎 博美 ..... P21**

移転措置事業を問う

**石嶺 邦雄 ..... P22**

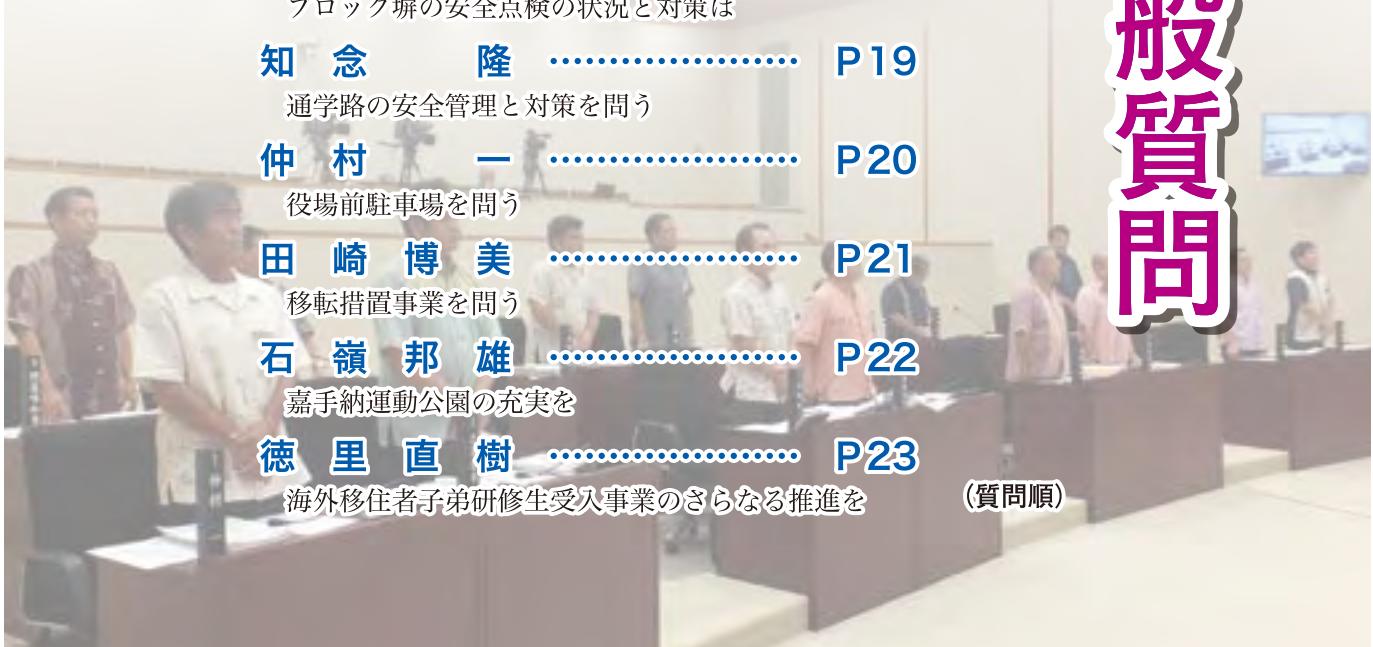
嘉手納運動公園の充実を

**徳里 直樹 ..... P23**

海外移住者子弟研修生受入事業のさらなる推進を

**14人の議員が****一般質問**

(質問順)



	H25	H26	H27	H28	H29
0～9歳		1人	1人	1人	1人
20代			1人		
50代	1人	1人			
60代	2人				
70代	4人				
80代	1人	5人	1人	3人	3人
90代以上	1人		1人		

年齢層別給付件数

問 人工内耳の補助について県内には、高額な体外機などの買替には基本的に公的な補助がない。県外では、現在補助を見直し、買替への助成制度を実施している。当町においても、先行して取り組み、県・

### 補聴器補助と人工内耳補助を問う



安森盛雄

答 上段表のとおり。  
問 人工内耳手術を実施した人数と今後行う予定の人数は。

答 本町の聴覚障害児の手帳の記載に人工内耳の記載の方はない。手術の予定している方からの相談及び申請は現時点でいない。福祉課で把握している数字はない。

また、福祉課においては、自立支援医療という制度を活用した補助がある。高額医療費、医療保険のほうも両方活用して自己負担を軽減するということになっているので、当然福祉課の窓口で相談といふことになる。しかし、人工内耳においては相談がない。

今後、人工内耳を装用していくという事であれば、福祉課でも準備しているので相談をして頂きたい。  
問 就学前の子どもも人工内耳については福祉課で対応するか。  
答 福祉課で対応する。

問 園児、児童生徒にそのような子どもはいないか。また、現場から報告はないか。

答 現在、町内の幼稚園に難聴の園児がいることは確認している。

### 人工内耳の体外機買替への助成制度の予定は。

答 助成についての早期の導入は考えていらないが、調査研究をしていきたいと考えている。

問 日常生活用具給付事業に追加できなかっか。

答 調査研究に取り組んでいきたいと考えている。

### 教育行政を問う

問 教育サポーターの業務内容と資格ありとなしの方の業務内容の違いは。

答 学校生活で支援を要する児童生徒、いわゆる発達障害のある児童生徒の生活支援や学習支援などを業務とし、資格ありなしでは関係なく同じである。

### 業務時間は。

問 業務前に研修は行っているか。  
答 同じである。

問 業務前に研修は行っているか。

答 教員免許の所持の有無に関係なく、研修を実施している。



嘉手納中学校

問 6月の定例会で総務課長は「無理やり賃金を抑えようとは考えていない。しっかりと話を聞いた上で判断できる条件等を踏まえ検討していただきたいと考えている」と答弁されたが、正式に教育委員会から申し出はあったか。

答 現在までに新たな嘱託員の設置に関する相談は受けていない。

問 同じ研修、同じ業務、同じ責任の重さであれば、学校長の推薦があれば嘱託への移行ができないか町長に伺う。

答 役場の職員でも高卒者と大卒者と同じ仕事だから同じ給料かといふと、決してそうではない。何らかの賃金差は設けていいのではないかと思う。この質問に対してもうと、決してそうではない。何らかの賃金差は設けていいのではないかと思う。この質問に対してもうと、決してそうではない。何らかの賃金差は設けていいのではないかと思う。この質問に対してもうと、決してそうではない。何らかの賃金差は設けていいのではないかと思う。この質問に対してもうと、決してそうではない。何らかの賃金差は設けていいのではないかと思う。



古謝 友義

## 町の特産品に指定を

問 パイン、シイタケ、トマト、ビーフ等を町の優良農産物に指定して、補助金の交付はできないか。

答 農業の振興と生産性の向上を図る目的に、やとうきび新植奨励補助金、優良種苗購入補助金、優良農機具購入補助金、農薬購入補助金制度がある。

問 これらの品をふるさと納税の返礼品として活用できないか。

答 今までにビーフ、タケノコを返礼品として活用した。生産量、収穫時期等を確認した上で検討している。

問 比謝川以北の土壤はパイン生産に非常に適しているとのこと。今後、生産農家を増やすためにも苗購入補助はできないか。

答 パインの苗については、優良種苗購入補助金の対象になつていて、さらなる生産性向上を図ることを目的に補助金制度の周知を徹底し



町の優良特産品へ

比謝川の赤土及び汚染物質  
流出防止対策を問う

## 自主財源の増加を図れ

たい。

問 現在、町内でシイタケを栽培している農家は20人前後であり、年間2000個のシイタケ栽培キットを購入し育てている。1個500円程度の栽培キットに購入補助金を出せば一大産業に変わると思うが、実現できないか。

答 シイタケについては、栽培している農家の数も増えていると聞いており、今後の生産量の増加が期待できる作物であると認識している。今後既存の補助金制度が活用できないか検討していく。

問 その対策はどうしているか。

答 パトロールや監視を行うことで対策をとっている。

問 基地内からの有害汚染物質について、国及び県からの情報は入っているか。

答 沖縄防衛局及び県企業局、県環境保全課より情報を受けている。

問 比謝川の水質検査はどこがやっているのか。

答 県が行っている。

問 現時点での検査結果は把握しているか。

答 沖縄県の定める環境基準値をクリアしているとの報告を受けた。

問 漁業関係者への説明は。

答 PFOs等に関しては、日本に環境基準値がなく、健康や環境への影響について国が調査中とのこと、漁業関係者への説明は特段行っていないが沖縄県と協議を行いながら漁業関係者への説明についても検討していく。

問 人口が増えない中、今後どのようにして税収増加を考えているか。

答 納税義務者の納税意識を高め、高水準の徴収率を維持することが大切だと考えている。

問 ふるさと納税額を増やす計画はあるか。

答 平成29年度県内ふるさと納税受入額ランキングで41市町村中11位、寄付件数8272件、寄付額9597万9000円となつていて。今後も様々な返礼品を準備して、本町へ寄付をしたいと思つていただけるよう頑張つていきたい。

問 広告収入は考えているか。

答 現在は有料広告の掲載は行っていないが、新たな財源を確保し、町内事業者等に対しても広告掲載の機会を提供し、地域経済の発展に寄与するものと考えられることから、先進地の手法を検討していきたい。

問 資金運用額を増やす考えはあるか。(水道事業も含む)

答 国債、地方債を軸に積極的に資金運用を行いたい。また水道事業においても新たに国債2億円を購入し、定期預金も1億円増額した。



宇榮原京一

## 町職員等の健康管理は

護教諭が教職員の健康状態を把握している。

問 職員へのメンタルヘルス対策は。  
答 嘉手納町職員健康サポート24を実施。電話による健康相談等を医師、保健師などが年間を通し24時間体制で対応。(過去4年間で200件以上の相談) 一定の効果は上げている。

問 地方公務員を取り巻く環境は複雑かつ多様化しており、職員一人ひとりに求められる役割や責任がより一層高まる中、職員にかかるストレスが増大し、心の健康に不調が生じ、療養を余儀なくされる職員も少なくないと聞く。そこで

答 教職員に外部から講師を招いて実践的な健診を実施。また校長教頭等が面談、さらに業務を点検するか。

問 地方公務員を取り巻く環境は複雑かつ多様化しており、職員一人ひとりに求められる役割や責任がより一層高まる中、職員にかかるストレスが増大し、心の健康に不調が生じ、療養を余儀なくされる職員も少くないと聞く。そこで

答 教職員に外部から講師を招いて実践的な健診を実施。また校長教頭等が面談、さらに業務を点検するか。

問 職員の長期病気休暇の実態とそ

の理由は。

答 3カ月以上休職しているのは4名。(メンタルヘルス2名、病休治療2名)

答 教職員職員研修の際に実施。

問 心のケア、相談体制、支援体制は。

答 教職員は休職者が8名で女性教育職員は休職者が8名で女性教育職員の健康管理は充分か。

答 健康診断か人間ドックを毎年一回実施している。

答 その診断結果を通じて校長や養

## 介護保険制度の充実を

## 高齢者の訪問理美容サービスの助成制度を図れ

問 介護保険が2018年度に改正された。改正により本町の実態はどうなっているのか、いくつか伺う。

答 特別養護老人ホームに入れない待機者の現状と対応は。

答 特別養護老人ホームの必要度が高い待機者は8名。また比謝川の里の待機者数は町内の方が24名。

問 制度改正の内容と町民への影響は。

答 制度改正の主な内容は介護保険料と利用者負担(高所得者3割負担への)の変更。嘉手納町における3割該当者は99人。

問 保険料を納めることが難しい場合は、保険料の減免制度が受けられる場合もある。相談の件数、保険料の減免を受けた人数は。

答 平成30年度の保険料減免の相談件数は3件。今後1件の申請予定。

問 要介護者が特別養護老人ホームの空きがないため、仕方なく有料老人ホームへ入所される場合があるが、その要介護者の有料老人ホーム施設入所に関わる本町独自の支援策の検討は。

答 現在有料老人ホーム施設入所にかかる町独自の支援策はないが、今後検討していきたい。



訪問理美容サービスを利用する高齢者(読谷村)

答 嘉手納町では在宅で介護を要する高齢者に対し、おむつ助成事業や外出支援事業などさまざまな高齢者福祉サービスを実施している。議員御提案の訪問理美容サービスに関しては、近隣市町村の事業内容や動向も含め検討したい。

問 高齢者の福祉支援サービスは、本町においてもさまざまな支援体制が実施されている。病気や障がいなどで理美容室などに行けない人向けになんらかの支援も必要かと考え、自宅で髪を手入れする訪問理美容サービス助成制度の確立を求める。



志喜屋 孝也

道の駅かでなリニューアルを  
問う

問 県道側からイベントが目視で確認できるか。雨対策は。

答 沖縄市向けはイベント、ステージにぎわいが確認できるが沖縄市側からはステージ上の催しは困難。中庭広場に屋根を設置する。

問 ステージの設置場所は。向き、大きさは。常設か仮設か。スピーカー、照明は。

答 久得牧原線側に西に向けて横8メートル奥行き4、5メートル3.6平方メートル。仮設で設置。また、スピーカー・照明は実施設計2で行う。

問 設計はこれからも変更はあるか。

答 軽微な修正は可能だが、現設計をベースに実施設計を行う。

問 テナントの数は。滞在時間は。年間契約か。入れ替わりは。

答 8テナント。滞在時間を伸ばすことが本事業の目的。32年中に募

集し商工会、各種団体、先進事例等を検討する。

問 展望台の安全対策は。一方通行か、入口は駅の改札式か。人数制限ブザー等は。

答 一方通行や入口を駅の改札式入数制限ブザー等は考えていない。

問 1人当たりの現在の消費額と見込み額の2500円の根拠は。

答 545円、沖縄県観光統計調査における観光客1人の1日当たりの体験プログラム等の支出額1633円合計した2433円を単数処理した。

問 バリアフリー対策は。

答 車椅子移動のしやすい設計、展望台へのエレベーター設置、多目的用のトイレの1か所増設。

問 目標の70万人に対する展望台の広さは。

答 70万人に対しても展望場の広さは問題ない。

問 観光ガイドよりトイレの数、工数スカレーターは。

答 不確定な部分もあるが多目的1基、男性小便器5基、個室3基、女性用で5基増設。新規エレベーター1基、13名乗り、エスカレーターは設置スペースや屋外のため外的危険性が想定されたため設置

予定はない。

問 中心商店街への誘客はどのように考えるか。

答 年間50万人以上が訪れる道の駅から中心商店街に呼び込むことは重要であり、冊子やマップの周知や観光ガイド等の取り組みを行つている。魅力的なプログラムや商店街自体の魅力を発信する。商店街を核としたツーリズムを推進する。

問 展望台・イベント施設は整備で

きる土地、施設の必要性、波及効果、建設費、駐車場などの課題が多く考えていらない。今後も現状のスタイルでイベント等を実施する。

問 観光客、修学旅行の生徒は嘉手納の現状をどのように感じていると思うか。

答 把握はしていない。3階の学習展示室の役割は米軍基地が町の82パーセントを占め、沖縄の縮図とも言える嘉手納において基地の実態を中心に展示し、来館者に世界の恒久平和について学習し、4階の展望場から広大な基地、飛び立つ戦闘機、騒音を直接目に、耳にしてもらい現状を知ること。

道の駅かでなビアガーデン  
を問う

問 イベントの企画主催は、広報はどうのようにしたのか。

答 指定管理者かでな振興株式会社が主催、道の駅のホームページ新聞の折り込みチラシ等。

問 これから夜間のイベントの予定は。

答 今後も観光客や地元の皆様にも気軽に来場できる年間の時期に開催し、夜間の展望台や軒下広場の活用を検討課題とする。

問 新町通り入口のアーチ看板の進捗状況を問う

答 新町通り入口にアーチ看板を設置する考えはあるが。

答 新町通りの入り口交差点工事の発注し基礎を調査する。



リニューアルで施設の充実を



花城 勝男

### 町財政及び財務報告書を問う

問 財政調整基金（財政運営の預金）

61億8200万円は、標準財政規模

（一般財源の規模）40億9300万

円に対しても財政基金の割合は、国や

町としての基準と目安はあるのか。

そして妥当性は、今後の使い道は。

答 国と町の基準及び目安は示され

ていないものと認識している。妥当

性は県内自治体の中では多額では

あるが、近年多発している大規模災

害発生時の地方負担分について備

える自治体が増えている。財政調整

基金は経済の不況等により、大幅な

税収減の時や、思わぬ支出の増加が

ある時に使用する。

問 特定目的基金（大型公共施設な

ども整備のための預金）28億990

0万円の使い道は。

答 福祉基金、振興基金、人材育成基

金、農林同窓会人材育成基金、土地

開発基金、施設等整備基金、整備調

問 平成28年度決算より統一基準モデル、財務4表を作成している。課題としては、その分析方法についての指標の基準、比率等が設定されたため、財政状況の客観的な比較検証が行えない。

問 何年度に公表するのか。また、どのような方法で公表するのか。

答 今年度中にはホームページでの公表を進めている最中である。

問 先進地では決算審査において主要事業の成果報告書を精査し、決算審査を実施している。成果報告書の導入自治体は市で83パーセント、町村で39パーセントである。嘉手納町での事業の成果報告書の現状と課題は。



食料品加工センターの集約化を

共通様式の評価シートの作成や結果の検討体制等の構築が必要であり、実施に向けて慎重に検討したい。ままでに嘉手納町は統一的な作成を求められているが、町の現状と課題は。

### ロータリープラザ調理室及び食料品加工センターを問う

問 ロータリープラザ5階調理室隣のベランダに、食事コーナー及び研修室の増設を要望。

答 食事コーナーや研修室の増設については、構造上、費用上の面から現在は難しいと考へていて。

問 食料品加工センターは必要か不必要か。施設機能変更か。今後の方針を決定してはどうか。

答 利用実績があることから、必要な施設であると捉えている。同時に他の有効な用途変更案等が出た際には、検討すべきであると考えている。

問 第5次総合計画（31年～40年）実施スケジュールと体制は。現状の課題と進捗状況は。第4次総合計画で将来人口1万4000人目標の実現が難しい状況だが、現状と今後の見通しは。第5次総合計画に向けて現在の目標に変更はないか。

答 平成29年度は第5次総合計画策定基礎調査を行い、30年度より第5次総合計画策定業務を実施。町民会議、職員主住以上で策定部会、全課長職で策定委員会、学識経験者、町内代表による審議会等を実施。今年の12月の議会定例会への議案提出に取り組む。課題は、少子高齢化であり、子育て世帯や生産年齢人口が減少。人口比率は老齢人口が年少人口を超えており、が、狭隘な土地の中で1万4000人を目標に、居住の確保や就業、子育て環境の充実に取り組み、若い世代の定住化を進める。

### 第4次、第5次総合計画を問う

問 食料品加工センターの機能とロータリープラザ5階調理室の機能を、集約化して利用する調査研究を要望。

答 両施設の整備目的が異なつてないことから、機能集約に向けての考え方は現在持っていない。



田仲康榮

高卒まで医療費無料化を

答 高校生の医療費助成の必要度は、中学までと比較して低い。町民からの対象拡大の要望や意見は特に寄せられていない。県内での実施も7町村で全体の17パーセントにとどまっている。全般的に普及していない。

で無料化実施は可能と考える。町民もそれを望んでいる。中卒までの無料化は通院で8割、入院で9割の自治体で実施され、現物給付も広がり、高卒までの無料化も通院で3割の自治体で実施。高校卒までの実施を検討すべきだ。町長の実施に向けた姿勢と対応を伺い

問 本町で実施に必要な財源は総額で約4981万9千円、現行の中卒までの総額にあと600万円である。町の財原分も約3912万

A small black bird, possibly a sparrow or similar, is captured in flight against a bright, overexposed sky. It is positioned centrally between two utility poles, with several power lines crisscrossing the frame. The perspective is from a low angle, looking up at the bird.

## 町域上空を飛行するMV22オスプレイ (8月14日 嘉手納)

不平等地位協定を改定し、

事故防止を

優先度を勘案した場合、現行制度の拡大は、今後の検討課題だ。

**問** 8月14日のMV-22オスプレイの嘉手納基地への緊急着陸は米軍機の安全管理への懸念と墜落事故への不安、恐怖をあらためて示した。同機は町民上空をヘリモードで飛

おり、いつ墜落しても不思議ではない。同機の飛来を中止し配備を撤回させるべきだ。オスプレイの訓練激化は地位協定で航空法特例によるものだ。一步間違えば大惨事になる。全国知事会は地位協定を見直し、航空法など国内法の適

を見直し、航空法など国内法の適用を提高してくる。環境汚染の「FOIS」対策の厳正化を強く求めたい。町長の見解と対応は。

た  
い  
。

9千円（県補助分約1069万円）で無料化実施は可能と考える。町民もそれを望んでいる。中卒までの無料化は通院で8割、入院で9割の自治体で実施され、現物給付も広がり、高卒までの無料化も通院で3割の自治体で実施。高校卒

問 本町で実施に必要な財源は総額で約4981万9千円、現行の中卒までの総額にあと600万円である。町の財源分も約3912万

### 読谷村の「9条碑」(読谷村役場内)

## 『憲法9条碑』の建立を

## 問 安倍首相は憲法の尊重擁護義務

(憲法98条)を投げ捨て、9条に自衛隊を明記し改憲、戦争法の強行など憲法破壊の政治を强行しようとしている。

やトラブルが発生しており、危険な機種である。嘉手納基地への飛来は反対だ。新町上空の飛行について防衛局は「確たることは言えない」との回答をしている。C.V.22オスプレイの運用については町三連協として対処したい。全国知事会の提言については、実現すれば航空機騒音、環境汚染等の問題の改善につながる。高濃度のP.F.O.S検出に関しては県・米側との協議の今後の動向を見ていきたい。

おり、必要性がどこにあるのか十分な議論の余地がある。9条の碑の建立については検討を行っていない。

**答**現在、自衛隊の存在及び活動は合憲と政府は解釈している。仮に国民投票で否決されても自衛隊が合憲であると主張している。憲法9条を改正する必要性がどこにあるのか理由を国民に説明すべき。9条改正は国民の意見も分かれて

この秋の国会にも自民党改憲案を提案する意向を示し改憲への異に突き進み、海外への無制限の武力行使に道を開くものだ。安倍政権下での憲法改正への反対世論は6割をこえ憲法9条を高く評価している。いまこそ「戦争放棄」「戦力不保持」をうたう9条を後世に伝えるべく「9条碑」を建立すべ





照屋唯和男

**屋良東部地区地域振興施設機能拡充事業と観光振興基本計画を問う**

問 客層は外国人や修学旅行生、来訪者に見合ったテナント及び配置計画の検討は。

答 テナントの選定方法はこれから検討課題、テナントブースの増設は1階を計画、展望場への増設計画はない。

問 基地全体を見渡せることにこだわる町が強く求める来客への期待と今後リニューアルすることで町が求める利益と町民への利益をどう見るか。

答 増え続ける沖縄観光に対応するため展望場の増築は必要。来客の増加による売り上げの増加、店舗の増加による起業機会が増え、雇用者の増加、町民としても大きなチャンスの場になるものと考え、町の観光の拠点として活性化に寄与すること等を期待。



リニューアル計画中の道の駅かでな施設

問 来訪者のニーズと出店のためのノウハウ、調査研究は。コンセプト、ターゲットをどう考えているか。

答 リニューアル後の道の駅かでなの特徴と他の道の駅との違いは。どうアピールしていくのか。

答 商工会や関係機関と協議を進め、テナントの選定の仕組みづくりを行う考え方。過重な基地負担の現状を知つてもらう。機能及び特徴は、リニューアル前後でも変わるものではない。さらなる展望機能の強化と店舗の強化を図り、町の活性化に資するようアピール。

問 基地全体を見渡せることにこだわる町が強く求める来客への期待と今後リニューアルすることで町が求める利益と町民への利益をどう見るか。

答 増え続ける沖縄観光に対応するため展望場の増築は必要。来客の増加による売り上げの増加、店舗の増加による起業機会が増え、雇用者の増加、町民としても大きなチャンスの場になるものと考え、町の観光の拠点として活性化に寄与すること等を期待。

問 再開発のときの町内商店街のコンセプトは新たな業種の配置では

なく、町民の暮らしに合わせた地域密着の計画で進められた。観光とマッチさせ道の駅から新町商店街へと町の中心へ誘客するために大きな変化が必要、町はどう見るか。また、どう取り組むのか。

答 ロータリー開発、新町通り開発でそこは一通り終わっている。地域密着型の店舗が中心であるので、観光客が足を運ぶような商店街になつていないと、これは承知している。

ただ、この通りは他の市町村にはない魅力ある通りになつている。北谷町、読谷村にはたくさんの観光客が来ているので町内まで足を運ぶことは十分可能性がある。ほかの地域とは違う商店街の形をうまく活用して、雰囲気を生かした観光客の誘致も可能性は十分ある。今後、その辺の検討が必要。

問 道の駅から連動し、色々な施設へ紹介というよりも、道の駅は道の駅、中心商店街は商店街、あと自然体験できる遊歩道や兼久海浜公園などのものは、それぞれ、単独でそこに観光と人が楽しむ目的を持つて集まるような施設に、嘉手納町は考えていつたほうが興味を持つ人たちが来るのでは。

答 観光で来られる皆さんは目的を

持つて来る。実際、観光客でも我々でも限られた時間の中で動くといふことがあり、個別の商店街、あるいは観光地の魅力をつくりながら、やっていく方法も当然考えていく必要がある。引き続き検討。

**プロポーザル実施を問う**

問 公募型プロポーザル実施をこれまで行われたか。これまでの入札制度との違い、第5次嘉手納町総合計画策定基礎調査業務に取り入れた理由は何か。また、選定委員会の構成は。

答 平成24年度より実施。専門性を有する調査業務などの場合、単に価格の安さだけで設定しては期待した結果が得られない場合もあり、その目的に合致した企画を提案してもらい、その中から企画、提案能力のある者を選ぶ方式。

第5次嘉手納町総合計画基本基礎調査業務は、向こう10年間の町政運営の指針となる重要な計画業務であり専門的な技術を要求される業務であるため、公募型プロポーザル方式を取り入れている。

委員長に副町長を充て、筆頭課長である総務課長、こども家庭課長、都市建設課長、教育総務課長を委員に充てている。

**問** ブロック塀の安全点検の状況と対策は  
**答** 去る6月18日に発生した大阪北部を震源とする地震において、学校敷地内のブロック塀が倒壊したが、町内の公立幼稚園、小中学校、また、認可保育園、認可外保育園の状況と対策は。

**答** 幼稚園及び小中学校を調査した結果、問題のあるブロック塀があることを確認した。今後、除却、補修による対応と改築が必要な箇所を検証し、状況に応じた対策を講じていく。

**問** 認可・認可外保育園については外觀に基づく点検を完了し、いずれも問題はなかつた。

**問** 公共施設における状況と対策は。  
**答** 設置されているブロック塀の危険性は認められないと判断しているが、今後も適宜、施設の状況確認等を行い、安全性の確保に努めたい。



奥間政秀



より良い教育環境の構築を

### より良い幼稚園教育を

### 二学期制を問う

### ふるさと納税制度の充実を

**問** 町内幼稚園の3年保育の状況は。

**答** 異年齢の幼児同士が相互にかかわり合い生活する中で、年長者に思ひやりの心が育まれるとともに、自己有用感を高め、自信を持つて園生活を過ごす姿が見られるようになっている。年少者は、年長者へ憧れを抱き、自分もやってみたいという意欲を持ち、行動を真似したりする姿が見られるようになっており、年少者が年長者になると自分から進んで行動する姿が見られるようになっている。

**問** 屋良小学校完成後の施設の整備構想はどのように考えているか。

**答** 関係者への聞き取りで現場が必要な機能について確認し、より良い教育環境の構築に努めていく。

**問** 二学期制検証アンケート調査の結果は。

**答** 嘉手納町の児童生徒及び保護者が二学期制になれており、生活リズムが確立され、長期休業においても大きな混乱がなく実施できていること。また、教師が児童生徒一人一人に応じた指導ができるうことから、二学期制検証委員会では二学期制を継続することに意義があると考えている。

**問** 検証委員会からの提言内容は。

**答** 教育相談や個人面談をより充実させ、学習状況等を丁寧に伝えること、定期テスト以外の評価もさらに充実させるとともに、生徒及び保護者に対し評価方法について年度当初に丁寧に説明すること。

**問** 二学期制を継続するか、三学期制に戻すかの判断の前に保護者等へ説明をし、判断していただきたいと思うが、教育長の考え方は。

**答** 子どもたちの教育に二学期制がよりよく生かせるように努力していきたい。



返礼品としてイベントへの招待を

**問** ふるさと納税への今後の取り組みは。

**答** 納税者が自主的に納税先を決定するため、目標額の設定は難しいが、前年度以上を目標に商工会や町内事業者と連携をし、魅力ある返礼品の充実を図っていきたい。

**問** 嘉手納町のイベントのピーアールをふるさと納税の返礼品に絡めた取り組みはできないか。

**答** 各種イベント時における特等席を返礼品とすることに対し業者へ相談したことはあるが、イベントの中止や延期などが起こった場合トラブルを招くことが予想されるため勧められないと返答があった。



知念 隆

通学路の安全管理と対策を  
問う

**問** 今年6月に発生した大阪北部地震で倒壊したブロック塀の下敷きになり、2人が亡くなり、そのうち1人は小学生で通学途中の事故である。そこで本町の状況について伺う。本町の通学路における安全点検はいつ行われたか。

**答** 平成30年6月20日に県教育庁より、教育施設の状況確認に関する通知があり、学校におけるブロック塀等の安全点検について各学校へ状況確認を指示し、情報収集を実施した。

**問** 安全基準を満たしていない危険と思われるブロック塀等は何か所あるか。

**答** 嘉手納小学校に1か所、嘉手納小学校に2か所ある。

**問** 通学路にある民間住宅の危険と思われるブロック塀等は何か所あるか。



災害時に危険なブロック塀

**答** 県土木建築部より、建築物の既存塀安全点検の実施について通知があり、6月末に町内のブロック塀危険箇所の調査を行った。調査の結果、ひび割れや不安定な状況にあるブロック塀が町内に8か所見受けられた。

## 町に考え方聞く!!

## 一般質問

## (仲村一・田崎博美)

**問** 町民が就職に有利な各種資格を取得する際、受験料や受講料、登録料などの2分の1、10万円を限度に助成する助成制度の創設ができるのか。

**答** 本町の雇用情勢は改善傾向にあり、資格取得助成制度については今後の雇用情勢の動向を見ながら検討していきたい。

**問** 西浜区自治会事務所前交差点に信号機を設置せよ

**答** 西浜区自治会事務所前の交差点は信号機がなく、出合頭の事故が多く発している。最近は町内を通行する観光客の車も多く、地域を良く知らない方は、どちらが優先道路なのか分からず事故が起きており、危険な状況である。せめて点滅式の信号機でも設置ができないか。

**答** 西浜区自治会事務所前の交差点の事故状況について、嘉手納署に問い合わせたところ、過去3年間で人身事故が1件、物損事故が5件、合計6件の事故が発生している。同交差点の交通安全対策として、車道に滑り止めや前方交差点注意

就職に有利な資格取得  
助成制度の創設を図れ

**問** 西浜区自治会事務所前の交差点は信号機がなく、出合頭の事故が多く発している。最近は町内を通行する観光客の車も多く、地域を良く知らない方は、どちらが優先道路なのか分からず事故が起きており、危険な状況である。せめて点滅式の信号機でも設置ができないか。

**答** 本町の失業率は沖縄県の失業率よりも高くなっている。行政としても町民の就業支援について力を入れるべきと考える。本町の役場、学校、社協で就業に必要な資格を持っている嘱託職員と臨時職員の人数は、

**問** の路面標示、カーブミラーや立て看板等の設置を行い事故の未然防止に努めてきた。出合頭の事故がたびたび発生しているとの情報もあることから現在、嘉手納署に信号機設置の要望について協議をしている。優先順位等から新たな信号機の設置について近年中は難しきないか。

**問** 町民が就職に有利な各種資格を取得する際、受験料や受講料、登録料などの2分の1、10万円を限度に助成する助成制度の創設ができるのか。

**答** 本町の雇用情勢は改善傾向にあり、資格取得助成制度については今後の雇用情勢の動向を見ながら検討していきたい。



西浜区コミセン前交差点に信号機の設置を

**答** 临时職員で資格を必要とする職種は2つ。採用人数は町内9人、町外1人。嘱託職員では職種が24種類で、採用されている人数は町内が46人、町外は72人となっている。

**問** 町民が就職に有利な各種資格を取得する際、受験料や受講料、登録料などの2分の1、10万円を限度に助成する助成制度の創設ができるのか。

**答** 本町の雇用情勢は改善傾向にあり、資格取得助成制度については今後の雇用情勢の動向を見ながら検討していきたい。

**問** 路面標示、カーブミラーや立て看板等の設置を行い事故の未然防止に努めてきた。出合頭の事故がたびたび発生しているとの情報もあることから現在、嘉手納署に信号機設置の要望について協議をしている。優先順位等から新たな信号機の設置について近年中は難しきないか。

**問** 町民が就職に有利な各種資格を取得する際、受験料や受講料、登録料などの2分の1、10万円を限度に助成する助成制度の創設ができるのか。

**答** 本町の雇用情勢は改善傾向にあり、資格取得助成制度については今後の雇用情勢の動向を見ながら検討していきたい。

問 ロータリー地下駐車場には障がい者用駐車場が2台分しかない。2台では不十分だと思うが当局の見解を伺う。

答 ロータリー地下駐車場2台、防衛局前1台、地主会館前2台、ロータリー第1・第2駐車場各1台がある。ロータリープラザ各階事務所およびイベント部署に確認



役場北東側駐車場

## 役場前駐車場を問う



仲村一

したところ増設の要望はないとの事である。

問 イベント等が行われている時に障がいをお持ちの方々と話をする機会があり「警察署の近くにしか止められなくて歩いて会場へ来るのが大変だった」との話をしていた。そのことを踏まえ広場に近い北東側（防衛局側）に設置できないか。

答 イベントの際そういう配慮が必要であれば主催者側と確保するか話し合っていただきたい。

問 ロータリー2号館の中に障がい者を雇用している事業所がある。そこには、車いすの方3名、脳梗塞・くも膜下出血等で身体に不自由をきたしている方が7名等、発達障がい等を含め20名ほどが働かれている。その方々からも近くの有料駐車場がいっぱいの時は東駐車場・中央駐車場に止めているとの事であった。役場駐車場は役場に用事のある方々のための駐車場だとは思うが、そういった弱者の方々は障がい手帳を見せたら利用できいか。

答 行政センター駐車場は利用する方々が利用するものとして周辺の事業者にはお断りしているのが現状である。障害を持つた方、福祉的なことであれば状況を調査の上検討してみたい。

したところ増設の要望はないとの事である。

問 イベント等が行われている時に障がいをお持ちの方々と話をする機会があり「警察署の近くにしか止められなくて歩いて会場へ来るのが大変だった」との話をしていた。そのことを踏まえ広場に近い北東側（防衛局側）に設置できないか。

答 イベントの際そういう配慮が必要であれば主催者側と確保するか話し合っていただきたい。



新町通り出入口交差点

## 新町通り出入口を問う

問 新町通り出入口の交差点の件である。今年度当初予算で町道32号線改良検討業務委託料が計上されているがどのような進捗状況か。

答 現在、車道及び歩道の電線地中化埋設管等の整理や沖縄電力等の関係機関と調整を行っている所であり、交差点車道部分の拡幅改良、アーチ看板等の構造物の設置が可能か検討していく予定。

問 昨年3月の定例会においても直近4年間の事故のデータを出したが、29年度も4件の事故が発生している。4件というと8名の方が嫌な思いや損害を被っているということである。この数字をどう思うか。

答 ワークショップはもちろん、地域住民の意見や公園内に字有地があるので字の有志のご意見等もお聞きしている。

字に限らず危険性があるというのは認識してきたところである。

問 埋設している電線の種類や深さは。

答 歩道・車道内に上下水道、OJTネット（電力・NTT・沖縄ケーブルネット）、国道の情報通信等のケーブル等が埋設されている当時の竣工図面と実際状況を調査している。

問 どのようない日程で、どれくらいの規模で考えているか。

答 平成25年度から基本調査業務を実施、27年度に基本設計、29年度墳墓調査、31年度を中途に補償に向けた取り組みを行っている。現在、事業予算確保に向けて協議を進めしており32年からエリアごとに実施設計を行い33年度から整備工事を進めていく予定。

問 範囲はどこまでか。

答 屋良城跡公園全体4、5ヘクタール。池の広場も含まれる。

問 町民に対して計画の説明等は行ってきたのか。

答 ワークショップはもちろん、地域住民の意見や公園内に字有地があるので字の有志のご意見等もお聞きしている。

## 屋良城跡公園リニューアルを問う



田崎博美

**問 移転措置事業を問う**

第二種区域指定内の建物等の移転補償件数及び土地の買い上げ等の対象になり、国に変更登記された土地の面積及び件数・筆数について3月、6月の一般質問で質疑したが改めて伺う。

**答 財務省、防衛省へ所有権移転された土地の面積及び筆数について答弁したが、これらは固定資産税課税台帳をもとに1月から12月までの暦年ごとに集計されており、議員から事前に提供いただいた移転戸数と土地買取りの資料は4月から3月までの年度ごとに集計されているため、相違が出ているものと思われる。例えば平成30年1月から3月までの間に、名義変更された場合、暦年だと平成30年だが、年度だと平成29年度になるため、それで数値に差が出ることになる。移転補償の実施年度を手続を開始した時点と捉える場合と補償金を**



ことにより、所得割の税率を抑えるために設けられたと認識している。

**問 国民健康保険新制度について**

国民健康保険料は平成30年度から的新制度により、保険料の軽減判定所得の変更がなされたが、軽減割合（7割、5割、2割）の被保険者数および世帯数は、平成29年度と比べどう変化したか。

**答 医療分については、7割軽減の世帯数が667世帯、前年度比100世帯の減、被保険者数が1077人、前年度比212人の減、5割軽減の生帯数が218世帯、前年度比7世帯の増、被保険者数が299世帯、前年度比11世帯の減、被保険者数が739人、前年度比26人の減、2割軽減の生帯数が218世帯、前年度比7世帯の増、被保険者数が470人、前年度比1人の増となっている。**

**問 平成30年度事業納付金割は現在の税率では歳入不足が見込まれるのでないかと考えられるが、それに対策は講じられているか伺う。**

**答 平成30年度当初予算においては、一般会計からの繰り入れを計上することにより、保険税率を据え置いている状況にある。今後の繰り入れの対応としては、沖縄県及び他市町村の動向を注視、検討していく。**

**答 平成30年度の介護保険に係る資産割額は約730万円で、対象になる人数は426人となっている。資産割に対する認識については国保税の賦課においては、負担能力に応じた応能負担として、所得割、資産割及び受益に応じた、受益負担として、均等割、平等割の組み合わせにより、賦課総額を配分している。資産割については、この負担能力に応じた負担の所得割の補完する役割をもたせることにより、所得割の税率を抑えるために設けられたと認識している。**

**問 国民健康保険料は、医療給付分と後期高齢者支援分と介護納付金（40歳から64歳）が対象になるが、それぞれ所得割、均等割、平等割の3方式をもとに算定しているが、介護保険分については、所得割、資産割、均等割、平等割の4方式に係る資産割額（6.80パーセント）と対象人員、また資産額割に対する当局の認識を伺う。**



運動公園施設の充実を図れ



石嶺邦雄

### 嘉手納運動公園の充実を

問 現在、兼久海浜公園のリニューアルに取り組まれているが、嘉手納運動公園の充実も早急に取り組んで頂きたい。屋良城跡公園のリニューアルもあり、担当課としては大変かと思うが、陸上競技場のスタンドに恩納村の陸上競技場のような屋根を設置できないか。

答 県内の市町村で屋根が整備されている陸上競技場が幾つか存在する。指定管理の業者に確認したところ、年間で行われている各種競技、

イベント等ではほとんどの方が2階観客席よりも1階軒下部分等で応援されているとのことであり、必要性についてはそれほど高くないと思われるのでは、設置は考えていない。

問 以前からも何回か提案されているが、ドーム駐車場から陸上競技場への階段の傾斜がきついので、弱者に優しいスロープの設置はできなかいか。

答 当該箇所の高低差が約7.4メートルとなっており、町の条例で定められている公園内の園路勾配率を用いて、スロープに必要な距離を計算すると概算で約148メートルとなる。上り下りの距離としては、あまり負担軽減にならないのではないかと考えている。車椅子等を必要とする利用の方は、正面入口付近まで車で来ても

らうなどの対応としており、現在、スロープの設置は考えていない。  
問 以前に町民の家の南側の長期利用されていない敷地面積が4ヘクタール近くある雑木林に読谷村の残波にあるグラウンドのようなサッカー・ラグビーなど多目的に活用できるボールパークは整備できないか。

答 残波岬ボールパークは敷地面積9800平方メートル、縦122メートル、横80メートルの天然芝で、メインスタンド675席の施設となっている。この敷地を平面上で俯瞰した場合、当該フィールド相当の面積を入れ込むことは寸法上、可能に見えるが、久得牧原線から町民の家までかなりの高低差を持つ傾斜地で、谷合いを含む複雑な形状となっていることから、大規模な土地造成や高い擁壁など広範囲にわたる構造物の建築、高額な整備費用等について検討する旨、過去の野球場移設の提案同様、大変難しい。

### シルバー人材センターの設置は

問 これまでにも何回か議会でも質問があり、また、住民懇談会でも多くの声が聞こえたので、そこで

スロープの設置は考えていない。  
問 以前に町民の家の南側の長期利

用として他市町村のヒヤリングや資料収集に努めてきたが、やはり業務内容のほとんどが第三セクターである「かでな振興（株）」と一緒になり、狭隘な本町では競合してしまうとの懸念がある。

問 関係機関との協議は行つたか。  
答 かでな振興に確認したところ、平成30年7月現在の従業員の状況として、全115名の職員のうち60歳以上が39名おり、高齢者雇用の一翼を担つていると見え、設立に1000万円以上が必要になる点、会員登録に会費の個人負担がある点等を鑑みて、本町における設置は難しいと考え、関係機関との協議を行つていない。

問 関係機関との協議は行つたか。  
答 かでな振興に確認したところ、平成30年7月現在の従業員の状況として、全115名の職員のうち60歳以上が39名おり、高齢者雇用の一翼を担つていると見え、設立に1000万円以上が必要になる点、会員登録に会費の個人負担がある点等を鑑みて、本町における設置は難しいと考え、関係機関との協議を行つていない。

問 ネーブルカデナ駐車場の草刈りを北谷町のシルバー人材が作業しているのは知つていていたか。

答 草刈り等については、北谷のシルバー人材センターは活用しておらず、自社で雇用する職員で行つてはいるとの回答であった。

伺う。平成27年3月の時に二ーズ調査を行うとの回答が過去にあつたが、その後の進捗は。



徳里直樹

問 海外移住者子弟研修生受入事業のさらなる推進を

答 終戦時、600万人以上の帰還者が日本に流入し、過剰人口問題を危機とした政府は、国策として積極的に移民を募集し、渡航費を貸し付けて計画移民を南米に送り込んだ。

問 受け入れ事業の概要は。

答 町出身の子弟を研修生として受け入れ、町民との交流を通して、移住者国の発展に貢献し得る人材の育成を図り、国際親善に寄与するこ

問 8月3日から15日、ブラジル・アルゼンチン・ボリビアにて「沖縄県人南米移民・移住110周年記念式典」に参加した。国策による移民・移住から110年を迎えた戦前、戦後、そして現在まで苦難の歴史がある。先人の偉業を称え、多くの市町村で海外移住者子弟研修生受入事業が行われている。事業のさらなる推進に向け、移民・移住政策の歴史・背景を伺う。

### 海外移住者子弟研修生受入事業のさらなる推進を



海外との人的ネットワークの構築を

問 事業成果と課題は。

答 海外との人的ネットワークは、当町に貴重な財産である。課題は、親戚の高齢化や遠縁などにより、ホームステイが困難となっている。

問 とを目的としている。

答 海外移住者子弟研修生受入事業、海外姉妹都市交流事業、中学生、高校生短期海外留学派遣事業、青少年国際文化交流事業等が実施されている。

### 生活保護世帯に冷房費支給への対応は

問 研修生と子ども達の交流を行つてはどうか。

答 移民の歴史は大変重要な事項。各学校にてトピック的な授業という形で、ぜひ取り入れたい。

問 厚生労働省は、熱中症予防対策に

今年4月から生活保護受給を開始した世帯のうち、一定の要件を満たせば、5万円を上限にエアコンの購入費用の支給を認めたが、事業の概要は。

答 該当する世帯に、エアコン購入費用が支給される。

問 対象世帯数及び対応は。

答 生活保護申請がある場合、制度の詳細な説明と周知を図る。

### PPP／PFI（民間資金等活用事業）の推進を

問 共サービスを提供できる官民協働の事業。

答 PPP／PFI推進アクションプラン（平成30年改定）の概要及び見解は。

問 費用対効果や波及効果など他自治体の実施、実績状況等を踏まえ、調査研究を行ない、実施の有無を検討していきたい。

問 PPP／PFI地域プラットフ

オーム形成の推進に対する本町の見解は。

答 調査研究を行い、事情にあつた方向性や取り組み方針を検討していきたい。

答 地域事情を踏まえ、行政から音頭をとり意見交換会チームのスタートを。

答 検討していきたい。

答 国や地方公共団体等が直接実施するよりも効率的かつ効果的に公

Fー法が施行されたが、PPP／PFI（民間資金等活用事業）の概要は。



民間資金等活用事業でよりよいまちづくりを

## 徳里議長が「中部地区町村議会議長会会長」及び「沖縄県町村議会議長会副会長」に就任

平成30年10月4日に中部地区町村議会議長会の定期総会が行われ、本町の徳里直樹議長が中部地区町村議会議長会会長に選出された。また、10月10日に行われた沖縄県町村議長会定例総会において、沖縄県町村議会議長会副会長に選出された。

徳里議長は、「町村の振興発展のため、役員とともに尽力したい」と就任の意気込みを語った。

## 常任委員長・副委員長実務研修会

平成30年11月6日に那覇市自治会館において、常任委員会の役割と運営についての研修会に、参加した。委員会の制度と役割や、権限と運営に対しての理解が得られ、有意義な研修であった。また、委員会の重要性も痛感した。最後に委員長、副委員長の初心に返り、嘉手納町の活性化にさらに寄与する調査・審査活動を目指し、リーダーシップの發揮を誓った。

## 題字紹介

# 議会だより



嘉手納中学校3年 大城 穂乃香

徳里議長は、「町村の振興発展のため、役員とともに尽力したい」と就任の意気込みを語った。

字のバランスを考えて書くのが難しかつたけど、うまく書けたと思います。これからも、書道を続けて将来に活かしていきたいと思います。

## 町村議会正副議長・正副委員長研修会

平成30年7月24日、北谷町二ライセンターにおいて研修会が行われた。初めに「沖縄移民100周年の歴史」について琉球大学名誉教授石川友紀氏から講演を受けた。続いて、「舞台から見た政治とこれからの政局展望」のテーマで政治評論家の有馬晴海氏が、日本の政治と経済、永田町のヒンヒン話のエピソードを分かり易く講演された。

## 沖縄県町村議会議員・事務局職員研修会

平成30年10月12日に沖縄県町村議会議員事務局職員研修会が糸満市で開催された。第1部は住民自治を進める議会の条件整備・議員報酬・定数・住民自治の根幹としての議会を作動させると題して、山梨学院大学法学部教授・大学院研究科長の江藤俊昭氏が講演した。第2部は議員の公務災害と全国町村議會議員団体補償制度について全国町村議会議員互助会事務局長の広瀬始氏が講演した。

## サークル紹介



毎週水曜日、午後8時から9時まで中央公民館でラテン音楽に合わせてエキサイティングにダンスを踊ります。ズンバは一度踊ると誰もがはまってしまうダンスです。只今、会員募集中。男性の方も歓迎です！

連絡先 照屋まで  
(090-3794-2106)

## 「ズンバサークル」

### サークル募集!!

サークル紹介コーナーへの掲載をご希望のサークルは、議会広報調査特別委員会までご連絡ください。